

よしあし草

東牧羊

晝漸く長く、夜やうやく短き昨日今日、朝寝に晝寝に、追々寝心地よくなり行くを覺ふる折柄、理屈づくめの教育論は、徒に、眠氣の種子とやらん、さりとて、家庭問題の話も、何となく鼻につくが如き感じもせらるゝに、さらば、何がなと、短夜の一時、かきつづりたるよしあし草を左に、

一、電話道徳

電話にての話はなるべく、用談にして簡単にするが、電話使用者の道徳といふものなり。格別の用談もなくて、何時までも、何時までも、話しつゝくる人、殊に婦人に多し、一言にて済む挨拶に、十言、百言を饒舌り、時に、益もなき戯談に、笑ひ戯るゝなど、何れも、電話使用の旨を心得ぬ仕

二、往來道徳

道路を通行するに、人の妨害をなして迷惑をかくるものは、又道徳的ならぬ人なり。左側通行は、一般の安全を計る爲めに、道行く規則として其筋より勧行され居るにも拘はらず、恬として右を右をと歩きて、人や車や衝突するが如きこれなり。多勢にて行くに、大道狭しと、横列に廣がりて、ぶら／＼無駄口たゝきつゝ人の妨をなすが如きも

方なり、といふべく、無駄の手數に交換手の迷惑は、言はずもがな、他よりの折角の用談も、之がために妨げらるゝこと少からず、學校官廳などの電話を使用する人は、殊更、注意を要す。

亦其一なり。かゝる事は、學校の往復に於ける學生（男も女も）に殊に多し。

三、玄關道徳

訪問の客を長く玄關に立たする癖の主人あり。これも面白からぬ事なり。玄關に入りて、音なへば先づ下婢出で来る。名刺を出して主人に面會せんことを乞へば、これを持ち去りて再び出で來るに、約十分、やがて座敷に通されて、主人の出で來るまで又十番も費さる。

かかるは主人の、別に急用を處理しつゝあるにもあらで、たゞ外見の爲にするが多し。速に接見するは、威嚴を損する所以と考へ居るなり。來客に對して禮なき業といふべし。

四、交際道徳

人に對して始終面白からぬ顔をする、無愛想なる無遠慮なる等は、何れも人に不快の感情を起さるものにして、宜しからぬことなり。其道徳的な分量は、他人に對して禮を缺き、他人に對し

て傲慢なると同じ位のものなり。無禮、不遜、傲慢、輕薄等は、人多く不道徳として咎むれども、無愛想、無遠慮等は、反つて、其人の天真の發揮せるものとして「あのは、元來わ、いふ人で」といふ調子にて、これを咎めざるが常なり。前者程にはあらざるも、他人に不快を與ふるに至りては、同一なり。之を天真の發露といへば彼も同じく、其天性の爛漫なり。天真爛漫は、凡ての場合に於て、悉く道徳的とはいふべからず。殊に禮を旨とせる他人との交際に於ては、人に愉快を感じしめんがために、己の天性を抑制せざるべからざる場合多し。普通の事情に於て、自己の氣儘のために、他人を不快ならしむることは、實際不善にして、他人に快感を與ふるは善なり、傲慢、不遜、輕薄等の行爲の、故らにすると、其性質なるが爲と問題はず。般に不道徳と稱せらるゝ所以は、單に有形的の損害を人に與ふるが爲にあらずして、不快を感じしむるがためなり、相當の禮義

が、一般に道徳と一致するは、他人に快感を與ふるが故物を與へて人を喜ばしむることも慈善なる言語舉止動作に由りて人の精神を快からしむことも亦善事なり。さらば本性無愛想な人、無遠慮な人、面白からぬ顔のみして居る人は、少くとも夫に由つて不快を感じる人に對しては、不道徳の人といはるゝも免るゝに由なきなり。

▲人の達したる最高所 軽氣球に乗りて最長距離を航行したる人は有名なる佛國のヴァーレル伯にして伯は千九百年十月カスチヨン伯と共に巴里より輕氣球にて露國のコウオヌエツフに達したるなり兩地間の距離は千二百哩なり輕氣球にて最高所に達したる人は英國のグレー・シャー及びコックスウェルの兩氏にして其高さは三万七千呎なりと云ふ

●市内女學校學資概要

女子大學

授業料
一ヶ年

食料
六圓

舍費
一圓

青山女學院

一圓八十錢
一ヶ年

五圓
六圓

五十錢
一圓

明治女學校

二十二圓
二年

六圓
六圓

五十錢
一圓

日本女學校

二圓五十錢
二年

六圓
七圓

五十錢
一圓

操學校

二圓五十錢
二年

五圓
凡

五十錢
六圓

三輪田高等女學校

一圓五十錢
二年

五圓
凡

五十錢
七圓

跡見女學校

七圓五十錢
一年

五圓
一圓

女子美術學校

八圓
一年

五圓
一圓

東洋女藝學校

六圓
一年

五圓
一圓

女子職業學校

七圓
一年

五圓
一圓

女醫學校

八圓
一年

五圓
一圓

東京裁縫女學校

同乙
一年

五圓
一圓

和洋裁縫女學校

一百圓以上
一年

六圓五十錢(含費共)
一圓

但同校は寄宿舎にあらずして三輪田女史の家塾なり